



2022年2月21日

各位

会社名 プロパティエージェント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中西 聖  
(コード番号 3464、東証第一部)  
問合せ先 取締役 岩瀬 晃二  
(TEL. 03-6302-3627)

## セグメントの変更に関するお知らせ

当社は、2022年2月21日開催の取締役会において、セグメントの変更について決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 変更の理由

当社は、『デジタル』と『不動産』で価値を創造する企業をコンセプトに、設立以来不動産領域において増収増益とともに成長してまいりました。近年では、不動産業界のみならずビジネス全般を変革すべくデジタル領域に注力しており、2021年9月にはDX認定事業者としての認定を受けました。また、事業領域においても、2020年8月には社会を変革するDXとして顔認証プラットフォームサービスを展開するDXYZ株式会社（以下、DXYZ）を設立し、「FreeiD」サービスという顔認証プラットフォームサービスを新たに開発・展開してまいりました。加えて、企業を変革するDXとしてDX関連のシステム受託開発を行うアヴァント株式会社（以下、アヴァント）を2021年7月に株式取得により子会社化し、クラウドシステム導入・運用支援、クラウドインテグレーションサービスを行うバーナーズ株式会社（以下、バーナーズ）を2021年11月に設立するなど、大きくDX領域において事業展開してまいりました。

昨今では、自社オウンドメディアや不動産投資クラウドファンディング Rimple などを活用したデジタルマーケティングによる15万人におよぶ会員の集客やSFAによるマーケティング・オートメーション、CRMの徹底した活用、AIを活用した不動産買取査定システムの自動化など、事業の根幹にデジタル技術をコアとした業務を構築するのみならず、販売している不動産も顔認証を標準で搭載するマンションを販売するなど、デジタル技術に支えられた商品取扱いに変わっており、総じてDX領域をコアとした事業シフトが起きております。このような事業状況を受け、また、さらにDXの推進を図るべく、この度、当社グループの事業ポジショニング・領域・セグメントを全面的に見直し、DXをコアとする不動産事業とDX領域をビジネスとして成長していく子会社三社のDXを推進する事業という二つの事業セグメントへの整理を行い、グループ一体でDX領域をコアとしたKPI管理等を行うこととしたため、これらを適切に表すセグメントに変更することといたしました。

### 2. 変更の概要

#### (DX不動産事業)

デジタルマーケティングによる会員集客やSFAによるマーケティング・オートメーション、CRMの徹底した活用、AIを活用した不動産買取査定システムの自動化など、業務コアをDXし、他社よりも優れた生産性を実現する新築収益不動産の投資家・実需向け開発販売事業や中古収益不動産のマッチング事業（スマートセカンド）、DX×金融×不動産となるクラウドファンディング事業（Rimple）、DXにより圧倒的に効率化されたストックビジネスである賃貸管理事業・建物管理事業・不動産運用事業を総じて「DX不動産事業」といたします。

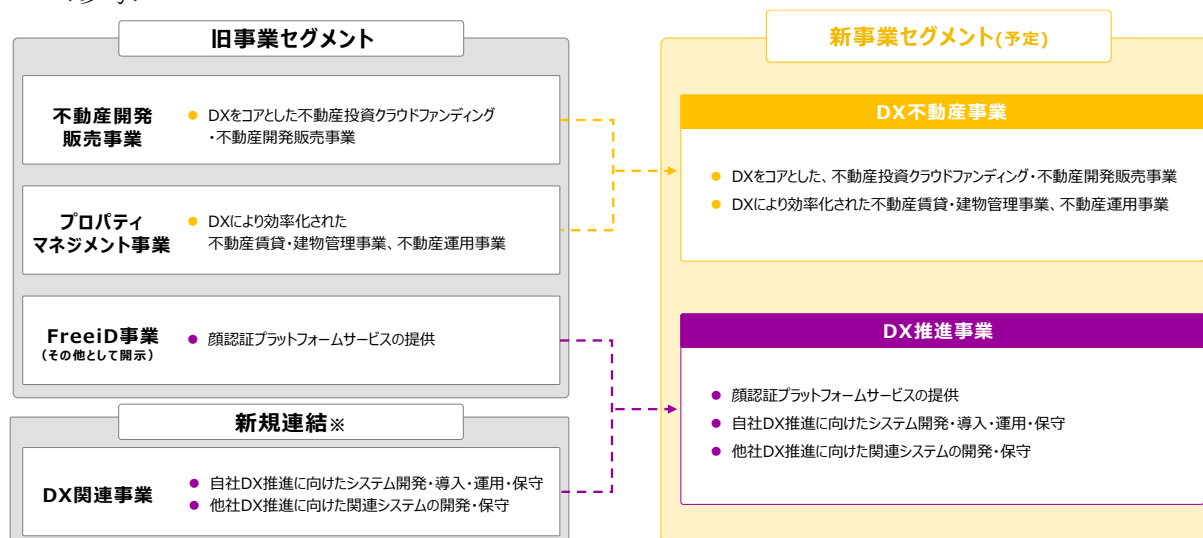
### (DX 推進事業)

顔認証プラットフォームサービス (FreeiD) や DX 関連システムの受託開発、クラウドシステムの導入・運用支援、クラウドインテグレーションサービスといった社会や企業の DX を推進する事業を総じて「DX 推進事業」とし、主に子会社 DXYZ、アヴァント、バーナーズがこれに含まれます。

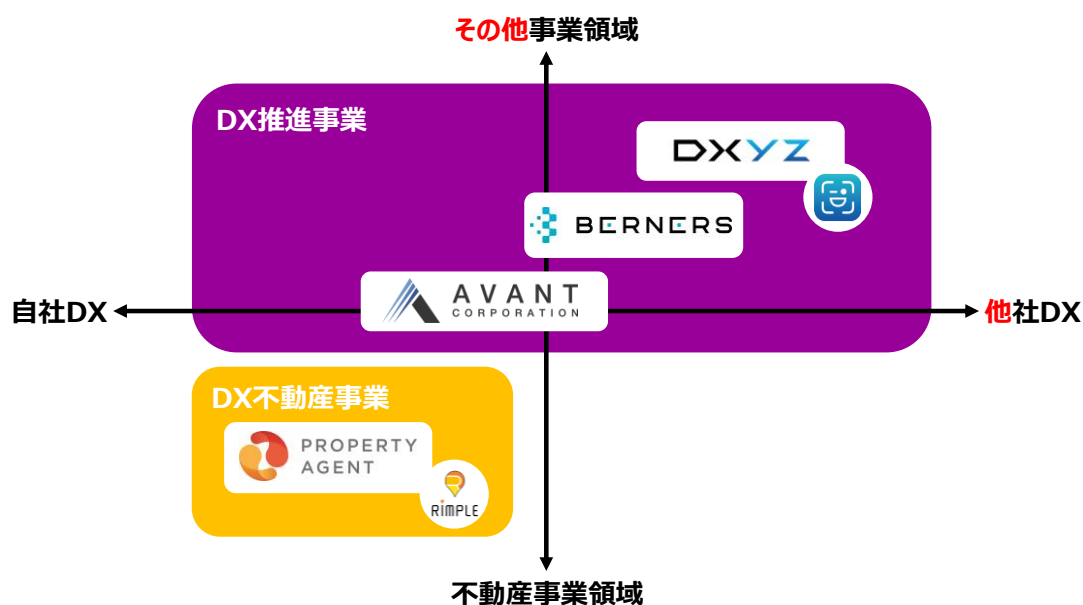
### 3. 変更の時期

2022 年 3 月期第 4 四半期決算より、新セグメントにて報告いたします。

#### <参考>



※ 途お知らせする「連結範囲の変更（連結子会社化）に関するお知らせ」にて開示の通り、2022 年 3 月期第 4 四半期より連結範囲に含めることとなったアヴァント及びバーナーズの展開する事業となります。



以上